

DX推進戦略（骨子）の策定

～目指す姿は「市民一人ひとりにデジタル技術の恩恵が行き渡り、
多様な市民の多様な思いが叶えられている～

豊岡市が進めるDXのめざす姿とその実現手段等を明確にするとともに、市民、職員その他の関係者が共通認識を持つためにDX推進戦略（骨子）を策定した。

1 策定の背景

民間のサービスはデジタル技術の活用等により日々進化する一方、市役所のサービスはあまり進化していないため、民間と市役所のサービス格差が拡大している。

出生数の減少により、将来の労働力の激減が見込まれる。「自治体戦略 2040 構想研究会」の報告では、2040 年には自治体は従来の半分の職員でも本来担うべき機能を発揮することが必要とされている。

職員が生き生きと働き、職員一人ひとりの力を最大限に引き出すため、時間外労働の削減、年次有給休暇の取得等の働き方改革が求められている。

2 現状

全庁的な方針等は定めていないが、次のような動きが生まれている。

豊岡スマートコミュニティ推進機構による先行実施

ICT、IoT、データ活用等により、公共交通の維持・活性化、福祉モビリティの活用、DX・データ・技術を活用した生活利便性向上・業務効率化などに取り組んでいる。

テレワークの試行と実施マニュアル策定

新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策や、病気・けがによる通勤困難時の負担軽減などをテレワークの対象となる要件とするとともに利用のルールを定めた。

会議のオンライン化

業務改善研修等の実施と先行事業の実用化

BPR(業務改善)研修、モグモグ会（ランチタイム勉強会）などを開催するとともに、アプリを活用し区長から道路損傷情報などの連絡を受ける実証実験を出石地域で実施している。

新型コロナワクチン集団接種の運営改善

BPRの事例づくりとして、全庁的な応援体制の構築、会場の特性に合わせた業務フローづくり、予約確認や2回目接種予約のデジタル化、接種記録事務等の外部委託に取組み、30分当たりの接種数が当初の1.66倍（90人→150人）になった。

オープンデータの拡充

2021年8月にガイドラインを策定し、公開可能なデータの掘り起こしを行った。（バス路線情報、ゴミ分別、市内社会福祉施設一覧など）その結果、豊岡市ホームページ「オープンデータサイト」のデータセット数は当初の1.91倍（11件→21件）に増えた。

3 戦略の概要

長期目標（DXの推進により長期的にめざす姿）

戦略目的（中期目標）（この戦略によりめざす姿）

| | |
|----------------|---|
| 長期目標 | 市民一人ひとりにデジタル技術の恩恵が行き渡り、多様な市民の多様な思いが叶えられている |
| 戦略目的 （中間目標） | 市民等の手続きは簡単・便利になり、市職員は定型業務をしていた時間を市民サービス向上に使っている |
| 主要手段 01 | 市役所の情報発信・手続きが市民の視点で考えられている |
| 01-01 | 市民のニーズに合わせた情報発信が行われている |
| 01-02 | いつでもどこでも問合せ、手続き等ができるようになっている |
| 01-03 | 関連する手続きがまとめてできている |
| 主要手段 02 | DXの推進基盤が整っている |
| 02-01 | DX推進の方向性が明確になり、体制が整っている |
| 02-02 | 業務や情報システムの標準化が進んでいる |
| 02-03 | 市、市民、事業者等の共創が進んでいる |
| 主要手段 03 | 職員のDXリテラシーが高まっている |
| 03-01 | 職員がDXの必要性、本質等を理解している |
| 03-02 | 職員が情報セキュリティの重要性を理解している |
| 03-03 | 職員が業務フロー最適化の知識を持っている |
| 03-04 | 職員がデジタルツールを使いこなしている |
| 03-05 | 職員のデジタル技術調達スキルが高まっている |

4 戦略の期間

2021年度～2025年度

〔問合せ〕総務部情報推進課 TEL0796-23-5491(直通)